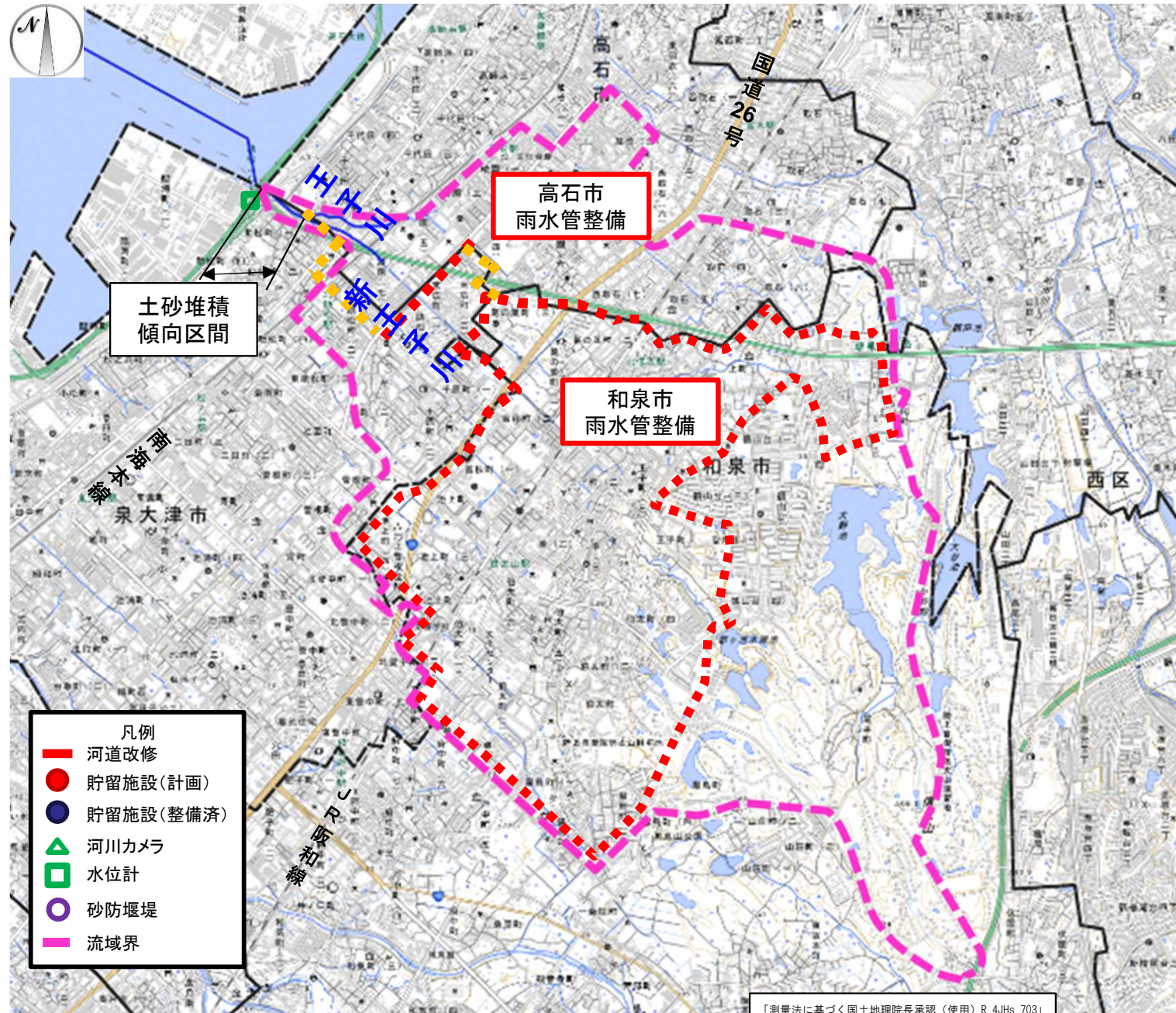


○時間雨量80ミリ程度の降雨による床上浸水を防ぐことができる。



● 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・貯留施設整備【府】
- ・ため池及び農業用施設等の治水活用【府・市・民間】
- ・既存貯留施設の治水活用【府・市】
- ・河道内堆積土砂の撤去
- ・下水道等排水施設の整備【市】
- ・各戸貯留

● 被害対象を減少させるための対策

- ・浸水被害防止区域内の既存住宅に対する補助制度
- ・立地適正化計画に基づき水害リスクの低い地域への居住誘導

● 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ① 情報伝達、避難計画等に関する事項
 - ・洪水浸水想定区域の指定拡大【府】
 - ・想定最大規模の雨水出水に係る浸水想定区域図等の作成と周知【府・市】
 - ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成及び避難訓練の実施【府・市】
 - ・ホットラインの運用（洪水・土砂・高潮）【府・市】
 - ・タイムラインの策定・運用（広域・市域・地域）【府・市・民間】
 - ・水害危険性の周知促進【府】
 - ・洪水予測や水位情報の提供の強化、水位計、河川カメラの整備【府】
 - ・ICTを活用した洪水情報の提供【府、気象台】
 - ・隣接市町における避難場所の設定（広域避難体制の構築）等【府・市町】
 - ・応急的な退避場所の確保【市】
 - ・市庁舎や災害拠点病院等の機能確保のための対策の充実（耐水化、非常用発電機等の整備）【市】
 - ・排水施設、排水資機材の運用方法の改善【府、市】
 - ・樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保【府・市】
- ② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項等
 - ・ハザードマップの改良、周知、活用【府、市】
 - ・防災教育の推進【府、市】
 - ・共助の仕組みの強化、地域防災力の向上のための人材育成【府・市】
 - ・住民一人一人の避難計画（マイタイムライン）・情報マップの作成促進【府、市】等

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

● 王子川水系では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、府・市が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】 洪水浸水想定区域の指定

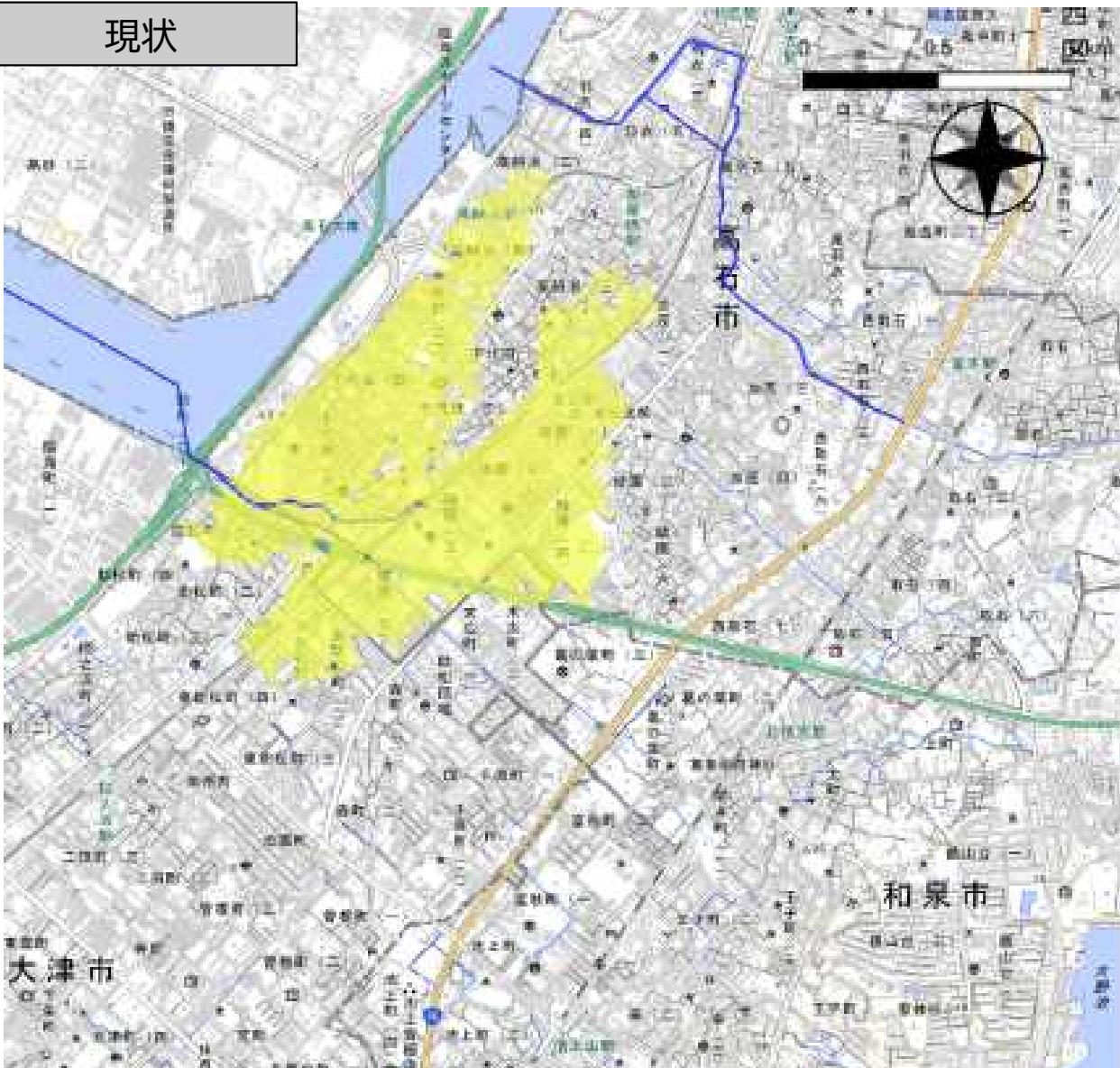
【中期】

【中長期】

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	王子川・新王子川の改修	大阪府		1/100 家屋床上浸水は解消済	
	貯留施設の整備	大阪府	→		
	ため池の治水活用	大阪府・流域市・民間	→		
	既存貯留施設の治水活用	大阪府・流域市	→		
	雨水管整備	高石市、和泉市	→		
	河道内の堆積土砂撤去	大阪府	→	定期点検による継続監視及び状況により適宜実施	→
被害対象を減少させるための対策	水害リスクの低い地域への居住誘導（立地適正化計画の策定等）	高石市・和泉市	→		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	①情報伝達、避難計画等に関する事項 ・洪水浸水想定区域の指定拡大 ・雨水出水浸水想定区域の指定 ・市町村、地域タイムラインの策定 ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成 ・防災気象情報の改善 等	大阪府・高石市・和泉市・気象台	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">洪水浸水想定区域指定拡大完了(R6年度)</div>		
	②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項 ・ハザードマップの改良・周知・活用 ・マイタイムラインの策定 等	大阪府・高石市・和泉市	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">雨水出水浸水想定区域図作成・公表(R7年度)</div>		

河川整備等による効果

現状



現況河道では

王子川：時間雨量80ミリ程度（1/100）の降雨に対し、家屋床上浸水以上の被害が想定されていない。

新王子川：時間雨量80ミリ程度（1/100）の降雨に対し、家屋床下浸水以上の被害が想定されていない。

引続き、河道の維持管理を行う。

高頻度（1/10）	■
中頻度（1/30）	■
低頻度（1/100）	■
想定最大規模	■

当面の治水目標に対応した河川の整備



整備率:100%

(令和5年度末時点)

農地・農業用施設の活用



3市

(令和5年度末時点)

流出抑制対策の実施



既存防災調節池等
0施設

(令和5年度末時点)

立地適正化計画における防災指針の作成



2市

(令和5年度末時点)

避難のためのハザード情報の整備



洪水浸水想定区域 2河川

雨水出水浸水想定区域 0団体

(令和5年度末時点)

高齢者等避難の実効性の確保



避難確保計画 洪水 146施設
土砂 0施設
高潮 59施設

避難訓練 0施設

(令和5年9月末時点)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

ため池の治水活用

上流部に位置する大野池等のため池群は、降雨時に雨水を一時的に貯留する機能を有する。



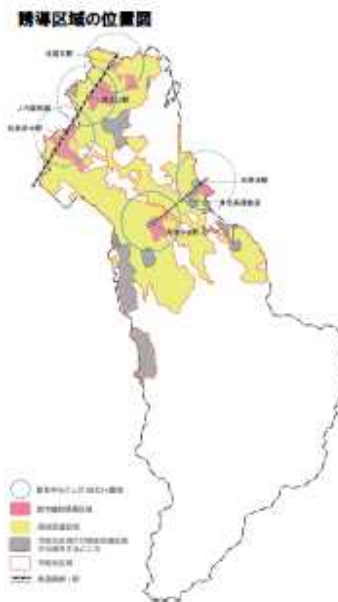
被害対象を減少させるための対策

和泉市の立地適正化計画策定の取組

現在の市街化区域を基本とし、以下の区域を除外した範囲を居住促進区域として設定します。

<居住促進区域から除外する区域>

- 土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域、浸水想定区域(0.5m以上)
- 地区計画により住宅の建築が制限されている区域
- 都市計画上の工業専用地域
- 市街化調整区域
- 生産緑地地区
- 大規模公園・緑地
- その他住宅の立地を促進すべきでない区域(遺跡、土地利用転換が見込まれない大規模な公共用地)



被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

コミュニティタイムライン作成の取組

和泉市では、令和4年度までに3地区のコミュニティタイムラインを作成し、災害時に府民一人ひとりの避難行動につながるよう取り組んでいる。



【コミュニティタイムライン作成促進説明会】